

おがまち日奈久ニュース

令和4年1月号
（第149号）
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
（11月末現在）
男 1,116人
女 1,358人
計 2,474人
（前月比+2人）
（2009年末3,444人）

新年のご挨拶
明けましておめでとうございます
日奈久住民自治会 会長 今田徳次郎



令和4年、寅年の正月を迎えられ、大変嬉しく思います。さて、前年まで、コロナ感染が猛威を振るい、どうなることかと思いましたが、秋以降、減少傾向にあります。しかし、新たな変異株の出現で、油断できない状況です。この2年、様々な催しが中止され寂しい毎日でしたが、今年こそ、今までの生活に戻れるのではと期待しています。住民の皆様も、感染対策に注意され、充実した年を過ごされますようお祈り申し上げます。

年末からの日奈久あかりプロジェクト事業、1月はONSEN・ガストロノミーウォーキング等日奈久温泉活性化事業として様々な催しが、実行・計画中です。今後とも、日奈久住民自治会の活動に対し、ご理解とご協力をお願いし、簡単ではありますが、新年のあいさつとします。

町内選出代議員及び部会員の改選を前に 各町内総会等で選出の協議を 住民自治会

日奈久住民自治会役員（代議員、部会員を含む）および市政協力員の任期はそれぞれの規約で2年と定められています。令和4年度は改選年度になります。

そこで、住民自治会では各町内の新年度総会等で、以下の役員選出について協議していただきますよう町内会長に依頼してありますので、住民の皆様のご協力をお願いします。

◆任期 令和4年4月1日
～令和6年3月31日

◆代議員の任務
選出町内の意見を集約し総会に反映するとともに、審議された事項およびその結果について町内への周知に努める。

◆代議員
3名選出 大坪町、塩南町
2名選出 新田町、山下町
竹之内町、塩北町、東町、浜町、中町、下西第一
1名選出 新開町、上西町、中西町、下西第二、馬越町

◆部会
原則、町内から各部会に1名以上、団体は任意

- 福祉健康人権部会
- 生活環境部会
- スポーツ文化部会
- 企画イベント部会
- 広報部会

御遷座二百年を迎えた温泉神社

宮司 小林緑郎氏

温泉発見のお告げを受けた市杵島姫命（いちきしまひめのみこと）をお祀りする温泉神社は、応永26年（1419）現在の日奈久温泉センターばんぺい湯の駐車場にあたる地に建立されました。

当時より、日奈久の村人をはじめ温泉の効能を知る湯治の客に崇められ大事にされてきました。江戸時代に起きた火災により、社殿も類焼してしまいました。しかし、神様を大切に守ろうという思いで、旧暦の文政5年（1822）10月15日、現在の場所に社殿を築き遷座されました。



ライトアップされている温泉神社本殿

コロナ禍の終息を願って どんどや 1月8日（土）9時点火

主催 日奈久住民自治会
主幹 企画イベント部会

どんどやは、無病息災・五穀豊穡を祈る民間伝承行事です。コロナ禍の終息を願って、1月8日（土）日奈久小・中グラウンドにて実施します。午前9時に点火です。今回は、ぜんざいのおもてなしはできませんが、多数のご参加をお待ちしています。雨天・強風の場合は中止となります。6日に判断します。



令和2年のどんどや

なお、前日7日（金）午前9時より塩南町の久保田理容前広場に集合して、竹切りに行き、その後設置作業をします。人手が必要です。皆様のご協力をお願いします。ご近所の皆様には、降灰でご迷惑をお掛けします。ご容赦をお願いします。

「ありがとう」が 行き交うまち 日奈久
身近な人に「ありがとう」 愛する日奈久に「ありがとう」 訪れる人に「ありがとう」

力走に声援を 第50回記念大会 町内対抗駅伝競走大会

今回が第50回の記念大会となります。これまで数々の名選手を生み出し、様々なドラマが演じられた町内駅伝競走大会ですが、人口減少により参加チームの減少が見られてきています。第50回の記念大会を次のように開催します。

◆日時 令和4年1月1日（土）
午前9時30分集合 10時スタート

◆会場 日奈久中学校周辺コース

参加町内は少なくなりましたが、新春を駆けつける各町内代表の力走に、熱い声援を送りましょう。コロナの状況次第で中止の場合もあります。

なお、市の校区対抗駅伝大会への参加は検討中です。

日奈久歴史散歩 日奈久に黒船現る

アメリカ合衆国提督ペリーが黒船を率いて神奈川県浦賀に来た嘉永6年（1853）から11年後の元治元年、4月25日午後3時頃、天草の方から黒煙を吐く怪物が、波を打って港へ向かってやって来ました。これを見つけた漁夫は、これは一大事と慌てて、港の番所へ知らせに駆け込みました。

番所の役人は、噂に聞いていた黒船を見て「日奈久を攻撃に来たのか」と肝をつぶしました。というのも、前年の文久3年、イギリス軍艦7隻が鹿児島湾に入港して、生麦事件の賠償を薩摩藩と交渉したことが決裂したので、砲撃を加えたばかりだったからです。日奈久は上へ下への大騒ぎになりました。

やがて黒船は港の沖に碇を下ろし、数人がボートで港にやって来まし

た。よく見るとなかに日本人がいるのを発見。役人は上陸を禁止して、その日本人だけを番所へ連行し、事情を調べました。

その日本人は長崎の者で、通訳でした。船はイギリスの船で、20名の乗組員がいること、昨日長崎から天草見物に来たが、石炭を切らしたので、補給したいということでした。しかし、日奈久には石炭はありません。「それなら松の丸太が欲しい。ついでに4羽の鶏とあるだけの卵を」

役人達はこの要求を受け入れ、差し出しました。

翌日の午前10時頃、黒船は黒い煙を残して天草の方へ出発しました。黒船を見送る役人も庄屋も町民も、ホッと胸をなで下ろす様子が目に見えます。

※本文は中原文敬著「日奈久の歴史」を参考にしました。

1月の行事から

- 1日（土）元日 町内対抗駅伝
- 7日（金）どんどや準備
- 8日（土）どんどや
- 10日（月）成人の日
- 11日（火）小中学校始業式
- 22日（土）ONSEN・ガストロノミーウォーキングin日奈久温泉2022

- <住民自治会関係会議等>
- 13日（木）市政協力員例会
 - 17日（月）運営委員会
 - 21日（金）広報部会

婦人会より

日奈久はきれいだな 町中クリーン活動実施

塩南町 佐藤夕エ

12月7日（火）午後1時から婦人会は、「町中クリーン活動」を行いました。市政協力員に加えて、あかりで日奈久の魅力をつくっていくという「日奈久あかりプロジェクト」、食を楽しみながら町を巡る「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」の2つの実行委員も参加してくださいました。

道ばたのゴミ、雑草、捨てられている物などを集めながら、午後2時30分まで作業をし、気持ちよく終了しました。参加者からは、「町内でせなるとは、ありがとうございます。』のお声かけもありうれしかった」「日奈久の町中のよさをあらためて知ることが出来た」「お客様を迎える町として、気づいたことをしていきたい」などの感想が聞かれました。



参加者と集めたゴミ袋（写真は合成）

住民自治会運営委から

12月15日（水）開催の運営委員会から、記事として扱っていない主な事項についてお伝えします。

○町内連絡委員会
日奈久では、電話で詐欺事案や子どもへの声掛け事案が発生しています。ご注意ください。

○事務局
ONSEN・ガストロノミーウォーキング（1月22日開催予定）では、多くの地域ボランティアを募集しています。ご協力できる人は、「コミセン」へ連絡ください。

○その他
小学校南側通学路防犯灯は、伊達整形外科医院北側に移設され、住民自治会が管理することになりました。

○その他
コスプレイベントが、2月頃に開催されます。

（広告欄）

新たな日奈久の輝きを発見 日奈久温泉 あかりの社会実験スタート

「日奈久あかりプロジェクト」が、12月1日(水)にスタートしました。11月26日と27日に行われた準備に、(株)LEM空間工房代表の長町志穂氏や魅力研究所の中村和博氏、日奈久住民が参加しました。

12月1日午後5時から、温泉神社広場で点灯式が行われました。日奈久湯の里振興会の今田徳次郎会長からは、「日奈久の起爆剤になってくれれば」と思いを語りました。これで日奈久を訪れる人が増えることを願っています」との言葉がありました。

前日の強い風の影響で、影絵が倒



影絵が倒れた様子



幻想的な姿を見せる竹林



行灯が照らす金波楼前通路

はないみたい」などの声が聞かれました。

そして、「ここももっとこうしたい方が・・・」などの意見が聞かれました。今後の検討課題もはっきりしてきました。みなさんも是非お出かけください。

避難訓練と煙体験を実施 日奈久中学校

12月17日(金)冷たい北風が吹くなか、避難訓練が行われました。八代消防署日奈久分署員7名、日奈久自主防災会11名が見守るなか、24名の生徒達はわずか1分47秒で運動場に避難完了ができました。

その後、体育館に移動。中村恭介校長先生、日奈久分署田中裕成指導第一係長、里木豊学校運営協議会長から、火事や地震などに普段から備え、危機意識を持つことの大切さなど講評がありました。

つきは空き教室を使った濃煙体験。濃い煙で先が見えない室内から、体を低くし手探りで出口を捜

たので、さほど疲れたとは思いませんでした。今後、自分は農業を継ぐので、勉強になりました。自分たちが食べる米や野菜等は、多くの人の手間と努力により、できていると改めて感じました。今後は父に負けない農家になることが夢です」と話してくれました。

最後に、2人に対して、白石節夫社長から、「今回のインターンシップで体験したことを将来農業でなくとも自分の仕事に對して、真摯に向き合い、努力していく前向きな姿勢を持ち、物事の本質、内容などを理解して、自分のものとするのが大事です」との話がありました。



二人が汗を流す農業作業

(株)アグリ日奈久 インターンシップ(職業体験事業)を展開

インターンシップとは、学生が興味ある企業などで、実際に働いたり訪問したりする職業体験のことです。実際の業務や働く環境の体験を通じて、業務内容や働くことにより理解を深める事を目的としています。体験日数は、一日単位から数ヶ月、数年間ものまで様々です。

(株)アグリ日奈久では、平成28年から始まり、今回で58人目の体験者となりました。今後も希望があれば、受け入れる体制を整えていくこととしていました。



今回参加した繁崎さん(左)と丸尾さん

今回は、県立八代工業高校2年生の繁崎陽平さん(氷川町)、丸尾飛渡さん(日奈久大坪町)の2名が11月16日から19日までの4日間、体験しました。繁崎さんは、「今回行った農業体験の中では、溝掘り作業が一番大変で疲れました。この体験で、何をやるにも目的を持って努力することが大事だと感じました。今後の自分の人生に活かしていきたい」と話しました。

丸尾さんは、「自分の家は農家で、子どもの頃から農作業を手伝って

肥薩おれんじ鉄道から みずほ保育園に感謝状

12月2日(木)、永年日奈久温泉駅に可愛い作品を展示してきたみずほ保育園に対し、肥薩おれんじ鉄道から感謝状が贈呈されました。

この日は、朝から園児が作成したクリスマス飾りの飾り付けが行われました。



煙にむせながら出てきた女子生徒

し、脱出するという火災の恐ろしさを体験しました。

最後に生徒代表の3年森本皇我さんが、「濃煙体験をして実際の火災現場では、煙で何も見えなくなることで分かりました。地域の皆さまにも参観していただきありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。

命をつなぐ 「人権の花」の取組終了

今年度、日奈久小学校は、「人権の花」の委嘱を受けて取り組んできました。春の種まきから、暑い夏の水かけそして秋の種取りと全校でがんばりました。素晴らしい花が咲き、たくさん種が収穫できました。この花の種は、他の学校や保育園等に配られました。

11月30日(火)に「人権の花」終了式が行われました。上村校長先生のお話や人権政策課課長のお話の後、人権擁護委員八代協議会の吉田和人会長より、感謝状及び「人権まもる君」と「あゆみちゃん」のマスコット人形が贈呈されました。児童代表の6年岡山莉愛(りあ)さんが、



感謝状を受け取る開田園長

そこに肥薩おれんじ鉄道の古森美津代社長他3名が到着し、感謝状の贈呈が行われました。

みずほ保育園は10年以上にわたり、季節に合わせた飾り付けを行ってききました。古森社長から感謝状や記念品が渡され、「日奈久温泉駅は、開業98年になります。みなさんの季節の飾り付けで、温泉駅はもっともっと長生きできます」と感謝の言葉を述べました。

みずほ保育園の開田寿史園長は、「本日はありがとうございます。地元のために貢献できることを考え実施してきました。駅を訪れた人達が、『可愛いな』と楽しんでもらえたらと思っています。これからもがんばっていききたいと思っております」と感謝の言葉を述べました。

「日奈久小学校のみんなでいろいろな花を育ててきました。花を咲かせた後、種取りをして、これまでお世話をしてきて良かったと思いました。花を大切に育ててきたように、友達や家族のことも大切にすることが大切だと発表しました。この種が、また新しい花を咲かせることが楽しみです」と発表しました。



終了式後に感謝状やマスコットを抱えて写真に収まる児童代表

今年も豊作! 晩白柚収穫祭

12月12日(日)10時から、今年の晩白柚収穫祭が開催されました。今年のおーナーは、県内はもちろんな、九州各県、遠くは千葉県と石川県等の計65人でした。受付を済ませた人々は、はさみを借りて自分の木に向かい収穫しました。



収穫を終えた山都町から参加の興和忠二さん

ONSEN・ガストロノミー ウォーキング試食会実施

1月22日開催予定の「ONSEN・ガストロノミーウォーキングin日奈久温泉2022」のおもてなし料理の試食会が、12月14日(日)日奈久コミュニティにて実施されました。

婦人会や旅館組合、湯の里振興会やDMOやつしろ等から30名程が参加しました。味や量などについて気付いた点を出し合い、その後はアケ所のおもてなしポイント毎に別れて、準備や会場の配置などについて話し合いが行われました。今後も検討会を重ね、1月22日の当日を迎えます。



試食後に意見交換をする参加者

(広告欄)